

はなざの

みなみはなえん
南花園だより
第128号・2022年10月



社会福祉法人 貴陽福祉会 特別養護老人ホーム南花園 松戸市河原塚102-8 TEL 047-392-0881 FAX 047-392-0882
特別養護老人ホーム第二南花園 松戸市紙敷1186-8 TEL 047-392-3336 FAX 047-392-3366



第二南花園は、令和四年九月一日をもちまして開園十周年を迎えました。

一つの節目ともいえるこの日を迎えることができましたのも、これもひとえに第二南花園をご利用されている皆様方やご家族、行政や千葉県高齢者福祉施設協会並びに松戸市特別養護老人ホーム連絡協議会等、第二南花園をご支援いただける皆様方のおかげと心より感謝申し上げます。

そして、九月一日には開園記念日に合わせ、職員の永年勤続表彰も行い、今年は十名もの職員が表彰されました。各職員の勤続年数が五年経過するごとの表彰となります。が、永年勤務してくれる職員がいるということは施設としてはとても喜ばしく、宝であると思っています。開園十周年が迎えられたのは、職員のお陰と言つても過言ではありません。これからも職員一人ひとりを大切に想い、そして毎年多くの職員が表彰されることを期待したいと思います。

さて、九月十九日は敬老の日であります。例年「敬老会」を開催し、お祝いをさせていただいておりますが、今年は第二南花園内において新型コロナウイルスのクラスターが発生してしまったことにより、誠に残念で

第一南花園開園十周年

社会福祉法人 貴陽福祉会 特別養護老人ホーム第一南花園

施設長 下森 宙

はありました。が第二南花園での敬老会は中止とさせていただきました。しかしながら、昼食時には普段のお食事とは違う「御祝御膳」を提供し、ささやかながら敬老のお祝いさせていただきました。ご入居者・ご利用者の皆様方がいつまでもいつまでもお元気に過ごしいただけるよう、ご祈念申し上げますとともに、今後も職員一同、最善のサービス提供に努めてまいります。

先般、世界保健機関より、「新型コロナウイルスのパンデミックは、まだ到達はしていないが終焉が視野に入っている」との声明がありました。明るい未来によるやく足を一步踏みだせるような気もいたしましたが、「まだ、気を緩めたり警戒を解いたりする時期ではない」とも言つていました。抵抗力の弱い高齢者の方々が多くいらっしゃる場所で働く我々の使命は、これまで、そしてこれからも感染症予防対策を徹底し、ご入居者・ご利用者の皆様を、新型コロナウイルスをはじめとする様々な感染症からお守りしていくことあります。そのためには皆様方からのお力添えなくしてはできないものと考えておりますので、今後におきましても皆様方からの温かいご支援・ご協力を賜りますようよろしくお願ひ申し上げます。



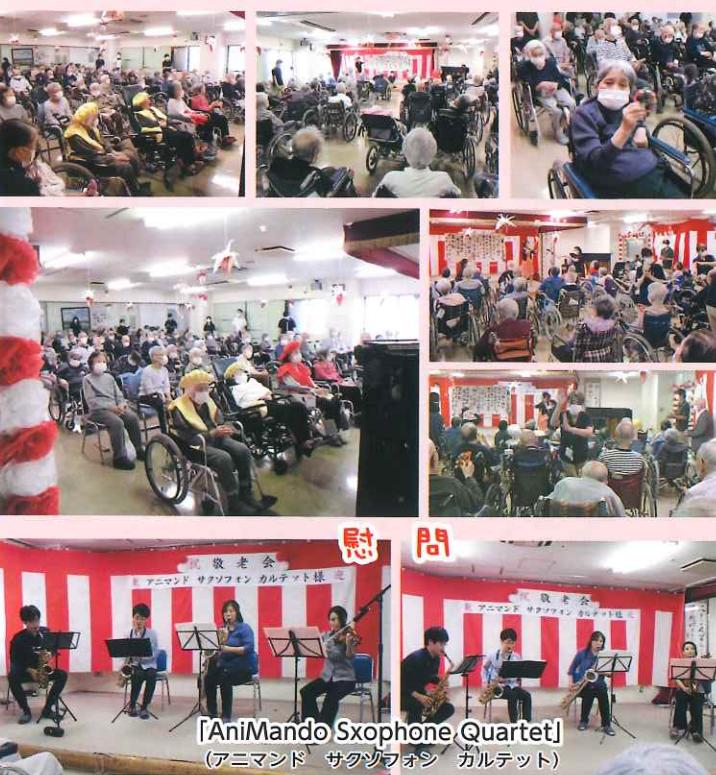
松戸市救急業務功労者表彰

松戸市消防局様より9月14日、松戸市救急業務功労者として、第二南花園が表彰されました。日頃より職員へ普通救命訓練を行う等して備えている事を評価して頂き、大変うれしく思います。



祝100歳

今年度100歳を迎えた入居者の方へ、内閣総理大臣より大きな表彰状と銀杯が贈られました。本当におめでとうございます!!



敬老会

「樂器の音色」に酔いしれて



今年の敬老会は、あいにくの雨でしたが、利用者様は元気な様子で、穏やかな雰囲気の中九月十八日(日)に開催されました。

南花園の今年の長寿のお祝い者は三名。百寿二名、米寿一名です。百寿の方に金色・米寿の方に赤色のちゃんちゃんこを着て施設全体でお祝いをしました。利用者の皆様同士も、「おめでとう」と言い、嬉しそうな表情も見られました。職員一同コロナウイルスに負けず、利用者様がこれからも元気で笑顔に過ごして頂けるよう心から願っています。

次に、月二回行っている音楽療法の発表では、一曲目に「東京音頭」を鈴と竹を使い、皆様で奏で、職員が踊り、会場は大変盛り上がりました。「なんとなくなんとなく」を

今回初の試みで曲中のセリフを事前に利用者の皆様で考えて替え歌で合唱しました。実際に考えたセリフは次の通りです。

「いいなあたのいいなあそれでいいのだ」「南花園みんなと一緒に分けてあげたいこの幸せを」です。利用者様にとつては知らない曲ではありました、が、回数を重ねて発表では歌えるようになりました。

最後に今年の慰問は「AniMando Sxophone Quartet」の皆様に演奏して頂き、坂本九さんから始まり、ジブリやクラッシックと様々なジャンルの曲を披露してくださいました。

利用者の皆様も体が前のめりになる程度中になり聞き入っていました。曲に合わせて手拍子や知っている曲が流れると口ずさむ方もいて、盛大に盛り上りました。

「AniMando Sxophone Quartet」の皆様、本当にありがとうございました。

来年の敬老会では、コロナウイルスも収まつて家族と共に過ごすことができる事を心から願っております。



祝い膳



私たちには新たな希望を胸に頑張りますのでよろしくお願いします。

新入職員紹介



● 蘇 亞傑
（特定技能）
特養介護員



● 山本 美波
デイ介護員



● 濱崎 美那
管理栄養士

南花園便り

こんな行事もありました

十五夜（お月見）9/10



お彼岸・お盆供養



いきいきクラブ / 第2・4日曜日



誕生日 / 偶数月



作品館



茶道 / 第3水曜日



華道 / 年2回



南花園今後の予定

- その他
- 散髪（毎週月曜日）
- 正月祝い（お屠蘇）
- 初詣
- 茶道（初釜）
- お寿司の日

1月

- 餅つき大会
- 華道

12月

- 誕生会
- クリスマス会
- ゆず湯
- 喫茶コーナー
- 焼き芋大会
- 紅葉狩り
- 防災訓練

11月

※感染症等の予防対策のため、国の判断に従い行事を見直す場合もあります。

第二南花園便り



9/18は御祝御膳を楽しんでいただきました
お祝いのごちそうを前にたくさんの笑顔が輝いていました



第二南花園便り

8/3&9/21 従来型 誕生会

毎回変わるケーキがひとかな楽しみです



7/3&9/7 従来型 かき氷イベント

冷たいかき氷にお好みのトッピングで楽しんでいただきました



7/15 ユニット型スイカ割り

上手に割れるかな？



みんなの広場

皆様 お元気に 過ごされています



第三南花園今後の予定

- その他
- 散髪(毎週水曜日)
- 移動図書(月一回)

1月
誕生会
初詣

12月
誕生会
新年のご挨拶

11月
誕生会
クリスマス会
ゆず湯

園内昼食会

紅葉見学ドライブ
お寿司屋さん

イベント

私たちは新たな希望を胸に
頑張りますので
よろしくお願ひいたします。

新入職員紹介



ユニット型 介護員
● 岡本 綾子
● 張 見晴
（特定技能）
ユニット型 介護員

*感染症等の予防対策のため、国の判断に従い行事を見直す場合も
あります。

ディサービス便り

入職して十年



介護員 宮澤 久美

南花園に入職して十一年目を迎えることができました。

コロナウイルス感染症が世界で蔓延して三年目。。。いつ終息を迎えることができるのかと思う日々です。

この十年の間に私事ではありますが、松戸市から野田市への転居。義父母の病での介護生活。特に義理の母の介護では、ぶつかることが多々あり、介護を投げ出したくなること

もありました。義父母もすでに他界し、今思うと「もう

う声をかければよかつたなあ」などと色々反省します。

今後は利用者の皆

様が、ディサービスに来ると「楽しい」「また来たい」と言つていただけるような介護を目指し、頑張つていきたいと思います。これからもよろしくお願ひいたします。

行事予定

11月

- ・焼き芋大会
- ・紙芝居
- ・個人作品

12月

- ・献立ゲーム
- ・クリスマス会
- ・忘年会

1月

- ・初詣
- ・お正月遊び
- ・書初め

こんな行事もありました

誕生会



三年ぶりに開催されたスイカ割り大会。人生初のスイカ割りだという利用者様もおり、職員のサポートや周りの皆様の声掛けで無事にスイカの前まで到着。すると、スイカめがけて大きく振りかぶり・・・!!

スイカに当たった方も当たらなかつた方も皆様笑顔で笑いあふれるスイカ割り大会となりました。



見事なへラさばき



今年も夏祭りの出店をイメージして、利用者の皆様とお好み焼きを沢山焼いてもらうゲームを行いました。



木村



永松



後列左から 月田・小川・道畠・坂本・飯尾
前列左から 青木・下森第二南花園施設長・矢野理事長・塚本・田中

第二南花園 永年勤続表彰

当法人では勤続五年毎に、永年勤続表彰を行っています。

今年も九月一日、第二南花園開園記念日にあたり、第二南花園及び東部高齢者いきいき安心センター職員計十名が、表彰されました。

受賞された皆様、おめでとうございます。そしてこれからも、よろしくお願ひ致します。



25年
★★★

● 塚本 安亮
従来型
副主任介護員



15年
★★★

● 木村 賢一
ユニーク型特養
ユニークリーダー
従来型特養
嘱託介護助手



10年
★★★

● 坂本 友理子
看護職員
● 小川 聰子
飯尾 よし子
非常勤看護職員
非常勤保育助手



5年
★★★

● 青木 里美
東部高齢者
いきいき安心センター
管理者
● 道畠 弥生
東部高齢者
いきいき安心センター
非常勤コーディネーター
● 月田 幸子
従来型特養
介護員
● 永松 明希
従来型特養
介護員

河原塚地区(四町会)に、「グリーンスローモビリティ地域推進事業」として、住民の参加を促進し、地域を活性化することを目的として、グリーンスローモビリティ(グリスロ)が導入になります。グリスロとは、時速20km未満で公道を走ることができる電動車両を活用した、小さな移動サービスです。河原塚地区には、八人乗り車両が導入されます。二回の実証実験を経て導入されることになりました。今回導入される地域は、河原塚地区と小金原地区です。九月二十六日に市との関係者らが参加して、車両が披露され、試乗も行われました。

グリスロは、「松戸モデル」として、利用者が乗降しやすいように低床にしています。冷暖房完備、コロナウイルス感染防止対策として、高性能空気清浄機を設置しています。ソーラーパネルによる給電、ドライブレコーダー。また、通学時間帯の青パトとして、防犯や交通安全対策も考えています。運行情報管理システムも導入し、位置情報が分かれます。

ドライバーは、講習を受けた地域住民がボランティアで運転します。

このグリスロは、買い物や地域の行事に参加するための移動サービスとしての活用はもちろんのこと、地域住民の交流の場としても期待できます。コロナ禍で趣味活動等の交流の場が少なくなっている中で、グリスロが交流の場となり、社会参加の機会となるのではないかと期待しています。

また、買い物に介護保険のサービスとして、ヘルパーさんを利用している住民が、グリスロを利用することで買い物と交流を楽しむ機会となることを期待しています。

東部地域は広範囲であるため、買い物や行事参加のために移動をどうするか課題となっています。グリスロが、他の地区でも導入され、運転免許を返納しても買い物に困らない生活ができる地域になるために活用できたら良いと思っています。

東部高齢者いきいき安心センター 便り

便り



介護職員随時募集中!! 一緒に働きませんか?

今昔生活雑記帳

(江戸の旅食事情七) 勝手コラム

十五

人として人間らしく生きるために 佛敎心をもつて 伴にくらしましょう

はなぞの 第128号・2022年10月

貴陽福祉会のHP紹介

貴陽福祉会のホームページを是非ご覧ください。要望・お気づきの点がありましたら、お気軽にお問い合わせ下さい。(スマートフォンでも閲覧可能です。)検索は「南花園」で。

HPアドレスは

[\[https://www.kiyou.or.jp\]](https://www.kiyou.or.jp)です。



屋外あそび



アルコールチェックエッカー導入
四月一日より当法人の運転業務に携わる職員に対しアルコール検査を毎日行い、利用者様に安心して車に同乗して貰えるよう、安全運転に気を付けるため導入をしました。



千葉県では、飲酒運転をしない・飲酒運転のないといふ県民意識の高揚を図り、飲酒運転のない、県民が安心して暮らすことのできる地域社会の実現に向けて、飲酒運転の根絶を宣言する事業所と飲食店の登録を行っています。当法人もこれに応じ、令和四年九月より、飲酒運転根絶宣言事業所として登録されました。

編集後記

九月には敬老の日がありました。改めて皆様の長寿を心よりお喜び申し上げると共にこれまでの道のりを思い、尊敬と感謝の気持ちでいっぱいになりました。今後も私たちを取り巻く状況は、変化し続けますが、数多くの困難を乗り越えてこられた入居者の皆様の姿勢に敬い、私達も頑張っていこうと思います。今後ともどうぞよろしくお願ひ致します。

保育室便り

今日も元気
いっぱいです



室内あそび



松戸市特産の美味しい梨をいたしました

八月二十五日に松戸市観光梨園組合連合会の皆様及び松戸市梨研究会加盟園の皆様のご厚意により、松戸市特産の美味しい梨(豊水)を、今年もご寄付いただきました。
毎年かかさず、丹精込めて作られた美味しい梨を届けて下さることに感謝しつつ、入居者の皆様に召し上がっていただきました。
今年も美味しい梨を、ありがとうございました。
ありがとうございました。



飲酒運転根絶宣言事業所として登録されました



千葉県では、飲酒運転をしない・飲酒運転のないといふ県民意識の高揚を図り、飲酒運転のない、県民が安心して暮らすことのできる地域社会の実現に向けて、飲酒運転の根絶を宣言する事業所と飲食店の登録を行っています。当法人もこれに応じ、令和四年九月より、飲酒運転根絶宣言事業所として登録されました。

旅に危険はつき物で絶景かな絶叫かな?
まだまだ旅は続きます。前回の「箱根の山は天下の隕」と謳われた難所も無事に通り抜け、富士山の絶景を楽しみながら宿泊で、『鰻の蒲焼き』を味わい、海の幸に恵まれた駿河湾を旅してまいります。品川宿から数えて十五番目の蒲原宿の次、由比では名物の桜海老やササエのつぼ焼きで舌鼓を打つ旅もほかあります。次の由比宿から興津宿の間にある「疊峰」は海に面して切り立った峰で、越えると後に富士山がそびえ立つ絶景で、歌川広重が浮世絵にも描いています。当時の峠道も険所でした
が、峠道が出来る前は崖下の海岸線に沿った波打ち際を通りぬけ、荒波にさらわれる旅人も多く、「親不知」と呼ばれていた危険な道であった。親不知と言えば日本海側にある越後国新潟県の親不知子不知が有名で、ご存知の通り断崖下の海岸線に沿った波打ち際の道を、狭い砂浜などでは打ち寄せる波の間を見計らい走り抜け、大波が来た時などは洞窟に逃げ込んで通らなければならぬ、危険極まりない道で多くの旅人が命を落とした難所中の難所でした。
昔の旅は難所の他に病気やケガと追はぎにも遭う危険が現代より格段に高く遠くに旅立つ事は亡くなる覚悟も必要で、旅立つ前には家族や友人と別れの宴をもうけたり、旅の途中で行き倒れになつた時の為に、手形には住所・氏名などの他、「亡くなつた時の埋葬についての一文が添えられていた」との記録もあります。もっとも現代に於いても交通事故など日常的に起こつており他人事ではありませんが、
「はつ……、まだ駿河湾の奥です。頑張っているのに、丸子宿の『とろろ汁』にも行きつけていました!!!」